

第1号議案

令和5年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録ならびに付属明細書について

令和5年度 事業報告

令和5年度は、「リアル」が再び世の中において復活してきた年になりました。コロナ禍において、Web会議、オンライントラベル等、デジタル上で完結していたものが会議や旅行、お祭り、イベントが「リアル」に開催され、各地におきましては人々が街に出歩くのが通常の世界に戻りました。このコロナ禍間の対応は現在でも、ハイブリッド会議といった時間の効率化や労働需給の逼迫・人材不足のための自動チェックイン機能を充実させたホテルや非接触型の支払機能等、新しいシステムが一気に進み観光業界における流れも大きく変革があった感がありました。

また、エネルギー問題や食糧・原材料費の高騰による世界規模のインフレが高まり、円安も重なったことによる国内事業の皆様様の運営コスト増が収益を圧迫していると思われまます。

しかし、国内団体客の完全復活には時間がかかるものの、インバウンド客が増加傾向にあることは営業戦略自体を変更せざるを得ない状況になっております。

この様な環境下において、2025年には「大阪・関西万博」、式年遷宮の「山口祭」、2026年には愛知県で「アジア競技大会」等ビッグイベントや、祭事が開催される予定です。その機会を大きなチャンスとして三重県への来訪をしていただけるよう周遊性を高め、滞在日数が増えるような、三重ならではの旅の魅力を三重県観光連盟公式サイト「観光三重」にて発信して参ります。令和5年度も「みえ旅アンバサダー」と協働で市町・事業者とマッチング事業を展開し、ユーザーニーズに即した施策を実施いたしました。

事業企画・宣伝委員会におきましても、「リアル」開催で「三重テラス」にて誘客イベント実施いたしました。観光物産連携事業も「リアル」で開催され各地で10回のPRが催されました。

三重県全県DMO推進事業については、地域DMOのデジタルマーケティング導入支援事業を推進いたしました。名張市、大紀町の2拠点のDMO事業者のGoogleマップ上にあるデジタルデータを共有し、地域全体のマーケティングに活用する支援事業を展開いたしました。

インバウンドに対応した観光コンテンツを一元的に発信するプラットフォームではネイティブライターを活用し、ページビュー数・訪問者数とも大きく伸ばした結果となりました。その他、観光基盤事業として会員との「リアル」地域懇談会の実施、観光人材育成のためのセミナーも開催いたしました。また、会員の方々からの要望も高い季刊紙「観光三重」も引き続き年4回発行しております。

日常が戻ってきたものの、観光事業を推進、運営している皆様におかれましては、以前とは違った対応に苦慮していると思われまます、皆様の一助となれるよう県・市町と共に三重県観光の発展に邁進してまいります。

○目標数値（KPI）

項目	令和4年度 実績	令和5年度		
		目標数値	実績	目標達成率
1. 旅行消費額（暦年）	4,269億円 （令和4年）	6,000億円 （令和5年）	4,882億円	81.3%
2. 延べ宿泊者数（暦年） *国内	683.1万人 （令和4年確定値）	950万人 （令和5年）	698.2万人 ※令和5年速報値	73.5%
3. 来訪者満足度	94.4%	95.0%	95.7%	100.7%
4. リピーター率	90.5%	89.0%	89.9%	101.0%
5. 延べ宿泊者数（暦年） *外国人	48,740人 （令和4年確定値）	590,000人 （令和4年）	194,300人 ※令和5年速報値	32.9%
6. 再来訪意向	44.4%	43.5%	47.4%	109.9%
7. 公式サイト アクセス数	2,690万PV	2,500万PV	2,621万PV	104.8%
8. SNS・メルマガ ファン数	222,600人	233,000人	251,043人	107.7%
9. 地域DMO等 事業者支援件数	42件	40件	49件	122.5%
10. 宿泊予約金額 （宿の予約サイト経由）	5,593万円	3,200万円	2,504万円	78.3%
11. 広告収入額	4,323万円	2,500万円	3,111万円	124.4%

※1～9は、DMO形成・確立計画の記載と一致。

※「3. 観光客満足度」は、三重県「観光客実態調査」の「総合満足度」の項目における「大変満足」の数値。

※「4. リピーター率」は、三重県「観光客実態調査」の「来訪回数」の項目における「宿泊客の来訪回数が2回目以上」の数値。

※「6. 再来訪意向」は、三重県「観光客実態調査」の「再来訪意向」の項目における「大変そう思う」の数値。

○令和5年度の主な取組

〈 1. 地域ブランディング事業の展開 〉

令和3年度から展開している地域ブランディング事業について、当連盟の強みであるサイトのドメイン力や戦略的なデジタルマーケティング、インフルエンサーを活用し、まだ知られていない、または既存の三重県のシーズ（観光資源）発信していくことによりニーズ化することに取り組みました。

〈 2. 一般ユーザーを活用した取組 〉

みえ旅カメラ部やみえ旅グルメ部、みえ旅登山部を統合し、「みえ旅アンバサダー」として7月に始動（R6.3時点 約50名）。メンバーの資質向上を図るとともにメンバーをさらに増やすなどして、より一層ユーザー視点での情報発信に取り組みました。

〈 3. 全県DMOとしての三重県観光連盟の機能強化のための検討 〉

「全県DMOを担う三重県観光連盟のあり方検討会議」を経て取りまとめられた「最終報告書」に基づき、連盟にて「インバウンド向けマーケティング業務」及び「地域DMO等への支援業務」を令和6年度より主体的な取組みを行います。また、それに伴い連盟内にあらたに「インバウンドチーム」を設置するとともに、全県DMO担当課長を配置します。

○令和5年度実施事業

1. 観光情報の収集発信

(1) 観光情報提供事業（56,522千円）

公式サイトやSNSを活用して観光情報を効果的・効率的に発信するとともに、電話等による問い合わせに対しニーズに応じた観光案内を行いました。

① 公式サイト運営管理

アクセスデータに基づいた特集コンテンツや取材レポート等を作成することで、公式サイト「観光三重」において、ユーザーニーズに応じた観光情報等を随時提供し、より魅力のあるサイトとなるよう取組を進めました。

【主な更新内容】

- ・地域ブランディング事業によるプロモーション
- ・「みえ旅アンバサダー」など、一般ユーザーを活用したプロモーション

【アクセス件数】（4月～3月）

- ・ページビュー 総数 26,208,243PV（前年度26,898,208PV 前年度比-2.6%）
- ・訪問者数 総数12,475,623人（前年度12,467,025人 前年度比+0.1%）

【スマートニュースとの連携】（4月～3月）

スマートニュースアプリでの記事閲覧回数：1,395,234回

【マーケティングデータの活用・提供】

公式サイトのアクセスデータを自ら解析のうえ、課題を抽出し、これらに基づいたコンテンツを迅速に更新しました。また、アクセス解析データ等をニュースレターとして会員に2回提供しました。

【地域ブランディング事業】

潜在能力のある三重の観光資源（シーズ）を、「〇〇といえば三重」という日本を代表するコンテンツにするべく、「観光三重」のドメイン力を生かし、地域ブランディングを図る取組を実施しました。

今年度においては、「繋いでいく。」をコンセプトにした「持続可能な観光地 三重」特設サイトを新たに作成しました。

また、事業企画・宣伝委員会の事業として、「犬とお出かけといえば三重」をブランディングするべく、みえ旅YouTube隊でもある柴犬りんご郎（YouTubeチャンネル登録者数19.4万人）と連携し、犬と楽しめる観光スポット・コンテンツ（おかげ横丁、伊賀の忍者、Villaお伽噺、VISON）のレポート記事を作成するとともに、柴犬りんご郎のYouTubeチャンネルによる情報発信を実施しました。

【みえ旅アンバサダーによる情報発信】（新規事業）

情報発信の幅を大きく広げることを目的に、みえ旅部活動を統合し新たに「みえ旅アンバサダー」を7月よりスタート。ユーザー目線での情報発信を目的にユーザーと協働して新店情報・花の見ごろ情報など短文記事によるSNS感覚の情報発信などを行いました。レポート記事とトピックスにおける7月から3月末までの合計PV数のうち、全体の約5分の1をアンバサダー作成記事が貢献。これらの取組が評価され、中京テレビ「キャッチ！」において「みんなで作る観光三重」としてみえ旅アンバサダーの活動として大きく貢献していることが取り上げられました。

【市町・事業者とみえ旅アンバサダーによるマッチング事業】（新規事業）

地域にある「地元ならではの」観光スポットや、自施設のサービスなどを「観光三重」で紹介したいと考える市町・事業者からの提案を募集し、提案に対してみえ旅アンバサダーが取材・記事の作成をする「マッチング企画」を実施した結果、1町14事業者、のべ17企画のマッチングが成立（今後公開予定のものを含む）しました。

【テレビ番組における情報発信】

- ・三重県広報番組（CBCテレビ「チャント！」内よしお兄さんの“みえ”推し！）
4/26「アートが生まれる街、亀山」（亀山市）
7/5「三重県で急増！グランピング日本初の北欧スタイルも！」（いなべ市）
7/19「夏休み 子どもが運転楽しめる 親子で鈴鹿サーキットパーク」（鈴鹿市）
9/6「三重の絶景旅！南伊勢町でいい写真」（南伊勢町）

- 10/11 「津出身の芸術家 川喜田半泥子」 (津市)
- 11/1 「絶景がいっぱい！三重の答志島」 (鳥羽市)
- 12/13 「ウマ進化 志摩伝統のきんこ芋」 (伊勢市)
- 1/17 「視聴者が推す 津観音&津グルメ」 (津市)
- 1/24 「視聴者が推す 四日市市中央緑地」 (四日市市)
- 3/20 「志摩スペイン村30周年」 (志摩市)
- 3/27 「三重の海女 歴史を学び海鮮堪能」 (志摩市)
- ・CBCテレビ「花咲かタイムズ」内
よしお兄さん厳選！夏の伊勢志摩アクティビティ※取材先の選定協力
- ・中京テレビ「前略、大とくさん」スピンオフ企画
「食べなきゃ人生損するグルメSP in 熊野市」
- ・中京テレビ「キャッチ」内
ユーザーと協働した「観光三重」アクセス数増加のための取組紹介

【ラジオ番組における情報発信】

- ・Suzuka Voice FM「土日、どこ行く？」週末お出かけ情報を紹介
1月～3月：6件
- ・レディオキューブFM三重「MIE color trip」三重県のおすすめ観光スポットを紹介
2月9日（金）

【公式SNS・メールマガジンによる情報発信】

X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、LINE、YouTube、TikTokの公式アカウント及びメールマガジンを活用し、SNSの特性に合わせた観光情報を効果的に発信しました。

SNSの種別	令和4年度 〔実績〕	令和5年度 〔目標〕	令和5年度 〔3月末〕
X（旧Twitter）（フォロワー数）	68,567人	70,000人	77,309人
Facebook（ファン数）	43,252人	43,000人	43,103人
Instagram（フォロワー数）	44,271人	50,000人	52,727人
LINE（友だち数）	22,975人	25,000人	28,665人
YouTube（チャンネル登録者数）	14,578人	15,000人	16,030人
TikTok（フォロワー数）	1,052人	2,000人	3,051人
メールマガジン（購読者数）	27,882人	28,000人	30,158人
合計	222,577人	233,000人	251,043人

【SNSの効果的な発信のための発信方法】

SNS発信の効果を高めるため、短尺動画による情報発信を新たに実施（Instagram、TikTok、YouTubeショート）。LINEについては、リッチメニュー化しユーザーが情報を主体的に取る仕組みに変更しました。

このように、ユーザーニーズを意識した取り組みにより観光三重公式SNS全体としてファン数は増加し、令和5年度目標を2月末ですべて達成しました。

【公式サイト・SNS等を活用したWEBプロモーション事業】

「三重県の観光情報を発信するメディア」として、公式サイト・SNSやWEB広告等を活用したWEBプロモーション事業を、県・市町・観光協会・観光関連事業者から受託して実施しました。

・バナー広告：12件

・WEBプロモーション事業：42件

真宗高田派本山 専修寺、BOAT RACE津、（株）中村製作所、亀山市、（株）志摩スペイン村（4件）、旅館大田家HealingStay、（株）JTB三重支店（6件）、みえ観光の産業化推進委員会（三重県観光部）（3件）、三重県交通政策課（2件）、孫太郎オートキャンプ場、（株）旅する温泉道場、熊野市、松阪市（2件）、鳥羽市観光協会、島の旅社、日本航空（株）、（株）おやつタウン、（株）賢島宝生苑、三重テレビ放送（株）、南伊勢町観光協会（2件）、（株）JR東海エージェンシー、クラブツーリズム（株）、（株）DNPプランニングネットワーク、（有）新屋、三重交通（株）、中京テレビ放送（株）、三重県農産漁村づくり課、志摩市、（一社）東紀州地域振興公社

② 観光案内事業

電話、メール、窓口等での観光案内や観光資料等の提供を行いました。

観光案内件数：1,523件

③ 令和5年度「みえ旅おもてなしポイントプログラム」事業運營業務（県受託事業：観光部）

「みえ旅おもてなしポイントプログラム」事務局として、利用者等からの問い合わせに対する案内、利用促進業務及びプレゼント賞品発送業務を実施しました。

（2）観光情報提供強化事業（23,630千円）

季節ごとの県内の観光情報を提供する季刊紙「観光三重」、会員を中心に県内の主な観光施設等を紹介した「三重の観光ガイド」の発行を通じ、観光地情報、イベント情報等のきめ細かい情報発信を行いました。

① 季刊紙「観光三重」の発行

三重県内の最新観光トピックやイベント情報などを幅広く紹介する季刊紙を発行し、紙媒体の特性を活かした観光情報を提供しました。また、デジタルブックを公式サイト「観光三重」に掲載することで、より多くの方に見てもらえるようにするとともに、読者アンケートによりユーザーニーズを把握し、紙面の企画に反映しました。

・作成部数：年4回 夏号22万部発行、秋号・冬号・春号20万部発行

・配布先：会員・主要駅・サービスエリア等 約700件

- ・発行時期：年4回 夏号5月24日、秋号8月24日、冬号11月24日、春号2月22日
- ・季刊紙による広告収入：9件
- ・デジタルブックを作成し、公式サイト「観光三重」へ掲載

②「三重の観光ガイドブック」の作成

県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等の観光情報を網羅的に紹介するガイドブックの原稿を作成しました。

(3) 広域観光事業 (1,351千円)

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、三重県観光のPR・観光客誘致を推進しました。

- ・4月20日 三重県観光関西協議会（1名）
- ・4月27日 中部国際空港観光案内実施協議会（1名）
- ・4月27日 東海地区外国人観光客誘致促進協議会（1名）
- ・5月15日 日本観光振興協会関西支部役員会（1名）
- ・5月24日 日本観光振興協会関西支部総会（1名）
- ・9月26日 中部国際空港観光案内実施協議会（1名）
- ・10月27日 日本観光振興協会都道府県政令指定都市観光協会会長等会議（1名）
- ・3月25日 日本観光振興協会関西支部役員会（1名）

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業 (2,803千円)

旅行エージェント等へのセールス活動や県内外で開催されるイベントにおいて観光PRを行い、誘客促進を図りました。

① 大都市圏会員活動支援事業

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）や三重県観光関西協議会（三重路会）の会員による旅行エージェント等へのキャラバンセールスに参加し、団体客等の誘致促進を図りました。

- ・12月6日～8日 三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）と連携し、東北地区旅行会社にキャラバンセールスを実施。

② F1日本GP地域活性化協議会への参画

F1日本グランプリ等において観光PRを実施しました。

- ・7月14日 おもてなし部会出席
- ・8月25日 鈴鹿F1日本GP地域活性化協議会本会議
- ・11月24日 おもてなし部会出席
- ・2月7日 鈴鹿F1日本GP地域活性化協議会本会議

(2) 協働宣伝事業 (3,389千円)

観光連盟会員の強みを活かしながらマスメディア等を活用した情報発信を行うとともに、メディア関係者等を対象にタイムリーな情報提供を実施しました。

① 雑誌等とのコラボによるPR

- ・伊勢新聞、2023年6月15日発行「G7三重・伊勢志摩交通大臣会合開催記念特集」において観光三重公式LINEをPR。
- ・中日新聞(夕刊)、2023年7月7日発行「中部地区の花火大会特集」において三重県の花火情報及び公式サイト「観光三重」をPR。
- ・雑誌「Discover Japan」9月号(8月4日発行)本誌特集「伊勢神宮の森の秘密」(8P)取材協力。
- ・タブロイド「道の駅(旅案内)中部版2023秋冬号」9月発行において旬情報及び公式サイト「観光三重」等をPR。
- ・雑誌「Simple」4月号(3月1日発行)において、三重弁「たぬきゅん」LINEスタンプの紹介と観光三重公式LINEをPR。

② 事業企画・宣伝委員会による事業展開

観光連盟会員の持つ様々なアイデアやノウハウ、マーケティングデータを活用するため、事業企画・宣伝委員会にて新たな企画を検討することで、より効果的な観光誘客事業を展開しました。

令和5年度事業「犬とお出かけといえば三重」公式HPでのPR事業
「三重の餅街道in東京」首都圏PRイベント事業

- ・9月14日 第1回事業企画・宣伝委員会開催
- ・12月1日 第2回事業企画・宣伝委員会開催
- ・2月17・18日 「三重テラス」誘客イベント「三重の餅街道in東京」実施
- ・2月20日 第3回事業企画・宣伝委員会開催

3. 観光産業及び観光文化の振興

(1) 観光物産連携事業 (759千円)

三重県物産振興会と連携し、県外を中心に開催される物産展において観光物産のPRを展開し、三重県への来訪促進を図りました。

第66回旬味まるごと三重展	4月	日本橋三越本店(東京都)
三重・愛知・和歌山 物産展	4月	西武秋田店
第3回三重・和歌山・愛知 物産と観光展	5月	(株)京王百貨店新宿店
三重・愛知物産展	6月	(株)丸広百貨店川越店(埼玉県)
第23回ふるさと三重物産展	9月	津松菱
三重・愛知・和歌山 物産展	10月	西部秋田店
三重・愛知・和歌山 物産展	11月	西武福井店
三重・和歌山・愛知 物産展	11月	新潟伊勢丹
第24回三重県の物産展	2月	うすい百貨店(福島県)

4. 観光基盤整備

(1) 観光基盤整備事業(16,714千円)

観光連盟が全県DMOとして「地域DMO等の観光ビジネスを行う主体をサポートする」役割を担い、「マーケティングデータの分析・提供機能」、「広域プロモーション機能」を発揮するための取組を実施しました。

また、地域懇談会や会員向けの情報発信を行うことにより観光連盟会員同士のネットワークを強化するとともに、観光ボランティアガイドの活動のサポートを行いました。

① 全県DMO機能に基づく取組

全県DMOとしての体制を整備していくため、多様な関係者とのネットワークづくりを行うとともに、DMOにおける専門人材として観光連盟職員のスキルアップを図りました。また、県と協同で会員や外部の有識者を含めた「全県DMOを担う三重県観光連盟のあり方検討会議」を設置し、連盟、県、地域等との役割分担等の整理を行いました。タスクフォースを組成し、あり方検討結果に基づいた「令和6～8年中期事業計画(暫定版)」を作成しました。

【専門人材の育成】

- ・ 6月8日 先進地視察(気仙沼市)
- ・ 7月13日 中部運輸局管内DMOミーティングに参加
- ・ 随時 中央日本総合観光機中央日本観光地域づくり人材育成研修に参加

【あり方検討会議】

- ・ 6月19日 他県DMO等ヒアリング(広島県観光連盟、愛媛県観光物産協会)
- ・ 6月22日 他県DMO等ヒアリング(奈良県ビジターズビューロー)
- ・ 7月7日 第1回検討会議
- ・ 8月4日 第2回検討会議
- ・ 9月19日 第3回検討会議
- ・ 9月27日 市町説明会

【中期事業計画タスクフォース(会員への説明会含む)】

- ・ 11月9日 他9回

② 三重県全県DMO推進事業(県受託事業:観光部)

全県DMOとして、観光関連事業者の方々に活用してもらえるマーケティングデータを収集して提供するとともに、県内DMOのデジタルマーケティングをサポートしました。また、インバウンド向けプラットフォームを拡充していくため、三重県多言語サイトにおいて、体験コンテンツを紹介する特設サイトの多言語化を引き続き進めるとともに、閲覧数を更に伸ばす取組を進めました。

【地域DMOのデジタルマーケティング導入支援事業】

名張市及び大紀町地内において、地域DMO等がGoogleマップ上にある地域事業者のデジタルデータを共有し、地域全体のマーケティングに活用するための支援事業を実施。また、過年度実施済みの団体に対し、フォローアップを実施。その他、次年度実施検討団体等の募集及び説明等を実施。

- ・ 随時 連盟職員による地域DMO等への説明・支援
- ・ 9月25～26日 専門家による研修・相談会（大紀町）
- ・ 10月2～3日 専門家による研修・相談会（名張市）
- ・ 11月13日 専門家によるDMO担当者研修（名張市）
- ・ 11月21日 専門家によるDMO担当者研修（大紀町）
- ・ 1月22日 専門家による研修・相談会（大紀町）
- ・ 1月30日 専門家による研修・相談会（名張市）

【インバウンド向けプラットフォーム（県多言語サイト）構築事業】

- ・ ネイティブライターを活用し、三重の魅力をネイティブ目線で発信するコンテンツ（紀北町・亀山市・東紀州）を作成。
- ・ 公式多言語サイト6言語（英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、スペイン語）の運営管理を行うとともに、アクセス解析を行いました。

アクセス件数

言語	表示回数（旧ページビュー）数			アクティブユーザー（旧ユーザー）数		
	実績（PV）	昨年実績（PV）	前年度比（%）	実績（人）	昨年実績（人）	前年度比（%）
英語	224,689	182,826	122.9%	122,240	102,154	119.7%
繁体字	222,073	128,723	172.5%	115,335	69,281	166.5%
簡体字	20,284	13,093	154.9%	11,188	7,694	145.4%
韓国語	14,347	9,626	149.0%	8,880	5,132	173.0%
タイ語	54,921	64,331	85.4%	34,255	40,804	84.0%
スペイン語	6,949	5,029	138.2%	4,339	2,268	191.3%
6言語合計	543,263	403,628	134.6%	296,237	227,333	130.3%

※昨年実績は、2022年4月～2023年3月までの実績

③地域懇談会の開催

県内各地で県と共同で地域懇談会を開催し、観光連盟の事業運営について会員からの意見を伺うとともに、会員相互で意見交換・情報交換を行うネットワークづくりの場を提供しました。

- ・ 9月4日 津会場（30名）
- ・ 9月6日 伊勢会場（39名）

- ・ 9月7日 四日市会場（12名）

④ 会員向け情報の提供（メール通信）

観光連盟会員向けのメールマガジンを定期的に発行し、観光行政情報、組織内情報、市場動向等の各種観光情報を提供しました。（月1～2回）

⑤ 観光ボランティアガイド事業

おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会と連携し、観光ボランティアガイドの活動をサポートすることで、地域におけるおもてなし力の向上を図りました。

- ・ 代表者会議 7月10日にJ A三重ビル本館(津市)にて実施。(24団体 59名参加)
- ・ 全体研修会 11月24日に久居アルスプラザ(津市)にて開催。(22団体 137名参加)
- ・ ラジオ番組出演 FM三重「M I Eリポート」において、観光ガイド団体6団体の活動紹介及びイベント等をPR（6団体 8/18, 8/25, 9/8, 9/22, 10/13, 10/27）
- ・ ガイド養成講座に対する支援 3団体

⑥ 観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した方々を総会にて4名表彰しました。

5. 外客誘致促進事業

(1) 国際観光事業（832千円）

観光庁の補助事業を活用して外部専門人材を登用することで、今後のインバウンド誘客に資する取組を行うとともに、観光情報発信を多言語で行いました。

① J N T O 認定外国人観光案内所の認定取得（新規事業）

インバウンド本格再開に備え、外国人観光客受入れ体制を強化するため、J N T O 認定外国人観光案内所（パートナー施設）として申請を行いました。

②多言語サイト「観光三重」の取組み

公式HP「観光三重」をA I 翻訳による多言語化を行い、提供しました。

6. 観光連盟の運営

(1) 総会

①定時総会

- ・ 日時：令和5年6月29日（木）
- ・ 場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・ 議題：第1号議案「令和4年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録並びに附属明細書について」
第2号議案「役員の選任（案）について」

(2) 理事会

①第1回理事会

- ・日時：令和5年6月5日（月）
- ・場所：ホテルグリーンパーク津（津市羽所町）
- ・議題：第1号議案「令和4年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録並びに附属明細書について」
第2号議案「役員を選任（案）について」
第3号議案「事業企画・宣伝委員会委員の選任（案）について」
第4号議案「令和5年度定時総会の招集（案）について」

②第2回理事会

- ・日時：令和5年10月4日（水）
- ・場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・議題：第1号議案「令和5年度事業計画及び収支補正予算（案）について」

③第3回理事会

- ・日時：令和6年3月28日（木）
- ・場所：ホテル プラザ洞津（津市新町）
- ・議題：第1号議案「令和5年度事業計画及び収支補正予算（案）について」
第2号議案「令和6年～8年度中期事業計画（暫定版）（案）について」
第3号議案「令和6年度事業計画及び収支予算（案）について」
第4号議案「規程（案）の制定等について」

7. 会員の状況

入会：17 会員 退会：10 会員
令和6年3月31日現在 会員数：330 会員

8. 事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書となる「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。